

# 広島市植物公園 見どころ案内

## ディモルフォルキス・ローウィイ (ラン科)

1本の花茎に黄色と赤の2種類の花が咲く不思議なランが開花中です。栽培管理が難しいため開花事例は少なく、当園でも過去に数例しか開花の記録がありません。

## サギソウ (ラン科)

シラサギのような形をしたかれんな白い花が特徴で、当園のシンボルマークにもなっています。約2700株が8月中旬まで見頃となります。

## キレンゲショウマ

## ゴールデン

## チェーンツリー

(キントラノオ科)

ブラジル原産の常緑樹で、金色の花を鎖状につけるのでこの名があります。全国的にも開花は珍しい花です。

## ムッサエンダ

## ホワイトサボテ (実)

## 黄金ココヤシの花

## サガリバナ (夜咲き)

## ソテツ (雄花・雌花)

## バナナ各種 (バショウ科)

野生バナナや合掌バナナ、台湾バナナなど多くの種類が一斉に実をつけています。

## 展示会のご案内

- ◇展示資料館 (7/31~8/31)  
特別企画展  
「ミツバチと花の“おいしい”関係展」
- ◇展示温室  
世界の食虫植物展 (7/17~8/15)

## レンゲショウマ (キンポウゲ科)

日本固有種。レンゲはハスの花のことで、花姿を逆さのハスの花に見立てています。ショウマは葉がサラシナショウマに似ていることにちなみます。

## ヒマワリの丘

一面に咲いているヒマワリが夏を彩ります。植えてあるのは‘サンフィニティ’という多花性の品種で、開花期が長く8月いっぱい楽しめます。

## オジギソウ (マメ科)

子どもたちに大人気の、さわると葉を閉じる不思議な植物です。南アメリカ原産で、夏にピンク色をした小さいボール状の花を咲かせます。

## スイレンの鉢展示

熱帯性スイレンと温帯性スイレンをスイレン鉢で展示しています。盆頃に向けて約30品種まで増やして行く予定です。

## タイタンビカス (アオイ科)

アメリカフヨウとモミジアオイの交配種で生育旺盛で強健です。一日花で白やピンクの花を次々に咲かせます。

